

Title	懐徳 第57号 目次
Author(s)	
Citation	懐徳. 1988, 57
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90690
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

懷徳 第五七号 目次

生涯学習時代の懷徳堂

若槻 哲雄 2

懷徳堂と自然科学

伴 忠康 5

懷徳堂・友の会発足後五年間を振り返って

信多 純一 11

▼連載 懷徳堂の人々(四) 同志の人々——懷徳堂を支えた五同志——

脇田 修 15

中井履軒作、象鈕の印より出発して

大庭 脩 22

「物」と「豪傑」——江戸後期思想についての覚書——

平石 直昭 43

和刻本『聖諭廣訓』に関する再考

陶 徳民 57

大阪の企業家と文化振興

作道 洋太郎 75

秀吉と能

天野 文雄 84

昭和63年懷徳堂講座
講演 要 旨

春季Ⅱ作道洋太郎・天野文雄・中村孝義・若山映子・佐野善之
秋季Ⅱ黒川洋一・山中浩之・頼祺一・武田恒夫・肥田皓三

97

▼資料報告 中井髯庵・髯庵夫人・中井蕉園葬儀記録

山中浩之・小堀一正 103

▼懷徳堂関係研究文献提要(六)

130

◇彙

報

137

口絵

象鈕印(懷徳堂文庫蔵)

「象図」伊藤東涯賛(関西大学蔵)

「象之絵巻物」(部分・関西大学蔵)

「象図」玉手棠洲画・並河寒泉賛(懷徳堂文庫蔵)

「象図」菅其翠画(肥田皓三氏蔵)

(表紙)文化三年大坂地図による。題字は三宅石庵の書より。